

支え愛プラン通信

第3期神奈川区地域福祉保健計画

今回は地区別計画推進に向けた情報交換の場として開催した、「地区別計画情報交換会」の様子をお伝えします。

地区別計画 情報交換会

各地区で課題解決に向けて行われている「地区別計画推進会議」（以下、推進会議）は、地区により進め方や参加者が様々です。

他の地区で工夫していることなどについて情報交換をしたいとの声を受けて、平成29年9月4日に地区別計画情報交換会を実施しました。

情報交換会の様子

当日は各地区の代表者（連合町内会長、地区社協会長、民児協会長など）合計56名が参加しました。異なる地区の参加者同士で地区の取組や課題、推進会議の進め方などについて情報交換を行いました。

また当日のまとめと講評を、かながわ支え愛プラン策定・推進会議の座長である、聖徳大学 心理・福祉学部社会福祉学科教授 豊田宗裕氏に行っていました。



情報交換会で出された意見

テーマ 推進会議をやって良かったこと

推進会議を機に、各組織同士の横のつながりが強化されました。推進会議の場で、地区の2大テーマである「子ども」「防災」について自治会・町内会や地区社協、民児協などの組織を横断して共有することができました。

推進会議には連合町内会の各自治会・町内会が一同に集まるため、普段は詳しく知ることができない他町会の取組を知ることができました。

各自治会・町内会の課題が見えるようになりました。そのため、推進会議では各町会の状況や課題を共有しました。

推進会議をきっかけに、自治会・町内会や団体間の関係性が深まったという声が多く聞かれました！

テーマ 推進会議などで話し合いをする際に工夫していること

会議に合わせて研修も一緒に行っています。

会議の構成メンバーを交替するなど、多様な意見を取り入れるようにしています。

地区の色々な団体（自治会・町内会、地区社協、子ども会、シニアクラブ等）に集まってもらうことで、連合町内会内の関係性を作ることを大切にしています。

各自治会・町内会の取組の進捗状況を地区別計画に照らし合わせて、1年に3回振り返りを行っています。



振り返りをする取組が進んでいることを実感できて良いですね！



神奈川区マスコットキャラクター
かめ太郎

裏面に続きます



テーマ 地域の中で変化したこと

地区の推進会議の場で地域の子どものお話が出ました。
 親の帰りを屋外で待つしかない子ども達がいると分かったため、対応策を話し合い、地域で子どもの居場所を立ち上げ、地域ケアプラザを借りて実施しています。
 子どもを取り巻く社会環境や家庭環境が変化するなかで、子ども達が身近な地域で安心して過ごせるよう取組を進めています。



「地区支え愛プラン推進委員会」が推進母体となり、地区ボランティアセンターを立ち上げました。推進会議で出た課題を生かして地域で担い手が必要とされていることを洗い出し、地域住民に対して「困りごと」と「手伝えること」についてアンケートを実施しました。
 ボランティアセンターで困り事とボランティアのマッチングを行うことで、地域住民同士で支え合う取組が広がってきています。



区、区社協、地域ケアプラザは各地区の「推進会議」に参加し、地域で展開されている様々な地域福祉保健活動を応援しています。
 皆さんの地域でもこれからも一緒に取組を進めていければと思いますので、よろしくお願いします。



豊田氏の講評より

グループワークでは地区で取組を行う際に「必要な人に必要な情報を届ける」ことが大切だというご意見が多く出ていました。また皆さんが日々、情報の伝え方に様々な工夫を凝らしていることが分かりました。地区の取組を進める上では、それぞれの地区別計画について話し合い、地区の課題を明確にすることが重要な土台となります。

是非これからも推進会議の場を活用して、皆さんが課題に感じていることを地区で話し合い、計画の推進に取り組んでいただきたいと思います。



計画の構成

かながわ支え愛プランは、「区計画」と「地区別計画」により構成されています。

区計画



- 区域・広域で行う取組
- 区内の地区に共通する課題への取組
- 専門的支援が必要な取組

地区別計画



- 21の各地区の特性に応じた目標・取組
- 地域住民が協働で作成した計画

かながわ支え愛プラン

詳細については

神奈川県福祉保健センター福祉保健課

横浜市神奈川区広台太田町3-8
TEL 045-411-7136 FAX 045-316-7877

社会福祉法人
横浜市神奈川区社会福祉協議会

横浜市神奈川区反町1-8-4はーと友神奈川1F
TEL 045-311-2014 FAX 045-313-2420